

タウンミーティングの各自治会別意見(スカイタウン)

主な意見	回 答	担当課
認定こども園の誘致は、場所的に企業誘致の邪魔にならないか。交通量も多くなり危なくなるのではないか。	認定こども園の近くにはぬくもり郷もあり、町では「福祉ゾーン」として位置づけています。企業誘致は西にある唐院工業団地や結崎工業団地に集中しますので、福祉ゾーンに企業を誘致することは考えていません。また、交通量についても問題になるほど増えないと考えていますが、これまでの開けた視界から建物が建つことによって視界が悪くなることを心配される声を聞きますので検討いたします。	総合政策課
大和川の堤防道路が道が狭くて危ない。この道路はどこが管轄し整備しているのか？	道路は国道、県道、市町村道があり、大和川の堤防は町道になります。河川は県管理になりますので堤防道路を拡幅するのは町だけの判断ではできない状況です。	産業建設課
天理王寺線や大和中央道も川西町で行き止まりになっており混雑が生じている。今後の道路計画を伺いたい。	保田へ抜ける県道の天理王寺線は、現在橋を建設中で今後河合町へ延伸されます。大和中央道の延伸についても県での最重要事項として進められています。また、京奈和道の側道の延伸も早期着工を強く要望しております。これらの道路が完成されれば混雑も回避されると考えております。	産業建設課
駅周辺整備事業の見直しをおこなっていると思うが、どのような状況か伺いたい。	3年ほど前に駅周辺の住民の方や各交通機関の方による協議会において、橋上化の青写真ができました。今回フューチャーセッションという形でより多くの住民の方の意見を踏まえて事業計画を固め、議会の特別委員会の審議を経て進めていくこととなります。現時点ではフューチャーセッションで頂いた意見を整理し検討を進めている状況です。	総合政策課
駅舎の費用負担についてどう考えているのか。	費用については近鉄との交渉をしていますが難しく、国や県からの財政支援を出来るだけ受けられるように努めています。	総合政策課
既存駅舎の活用も検討してはどうか。	駅舎については橋上化を望む方や最小限の変更を望む方など色んな意見がございますので、フューチャーセッションの場でご意見頂ければと思います。	総合政策課
町で保管している防災備蓄品について教えてほしい。	町の資機材や備蓄については県が示す被害想定結果をもとに確保を進めています。食料品については90%ぐらい、資機材は100%確保できています。 (総務課 追記) 奈良県が策定した「第2次奈良県地震被害想定調査報告書」において、川西町では2,711人の避難者が想定されており、避難者が2日間必要とされる備蓄物資について確保を進めております。H28現在において、食料品は80～90%、資機材は100%確保できております。	総務課
今の防災倉庫は浸水地区にあるのではないか。	町全体がほぼ浸水地域であることもあり、ご指摘のとおり、防災倉庫も浸水地域に建っておりますが、備蓄品は浸水しない2階で保管しております。これからの備蓄品は自治体で保管するのではなく、民間商業施設との協定により民間で保管してもらうことが主流になってきています。今後はそういった方法も検討してまいります。	総務課

主な意見	回 答	担当課
各自治会で自主防災会が設立されているが、新しい自治会は資金力が無く防災資機材を揃えることが出来ないので支援してほしい。	新しい自治会に対して支援できるように資機材等の整備の補助制度を設けており、どの自治会も防災体制が整えられるようにしております。	総務課
避難場所としてスーパーなど民間企業との協定は出来ているか。	物資の協定は出来ておりますが、避難場所としての協定は出来ていない状況です。この地域であれば2階に避難して頂ければ大丈夫かと思えます。	総務課
開発時に土地の高さの調整や、袋小路にならないように指導しているか。	開発業者に対し指導はしておりますが、義務づけることは出来ないなので、あくまで「お願い」という形になります。	総合政策課
防犯カメラについて町の考え方を教えていただきたい。	駅周辺については行政で設置する予定です。それぞれの自治会への設置についてはプライバシー問題で賛否があることから議論を重ねたうえで考えていきたい。町内の自治会で自主的に防犯カメラを設置されているところもあります。	総務課
乳がん検診で触診が無くなっているのはなぜか。	国の方針に基づいて触診がなくなったと聞いております。どのような検診が効果的なのかは保健センターで検討しておりますので、より早期発見につながるよう努めます。 (健康福祉課 追記) 国の「がん検診のあり方に関する検討会」による指針に基づいて、触診がなくなりました。触診は、しこり(指にふれる大きさ)を見つけるものですので、マンモグラフィーに比べ、早期発見の契機となることが大変少ないためです。2年に1回の触診よりも、自己触診のほうが頻回に実施でき、変化に気づきやすいため、自己触診の健康教育を検診時に行っています。	健康福祉課
認定こども園の「愛和会」は報道にあった事業者なのか。川西町への影響は無いのか。	役場としても困惑している状況です。問題はないと考えておりますが、皆さんも心配されていると思いますので、状況については何らかの形でお伝えしなければと考えております。子育て関連については、川西町版ネウボラという形で切れ目ない支援体制を整えております。また、制服の支給も検討しており、引き続き子育てしている方への支援を考えているところです。	健康福祉課
自治会で公園の点検をしているが、事故が生じた場合に自治会の責任とならないか。また、使われず放置されている公園もあるが、公園の運営は自治会に任されているのか。	役場において定期的な点検や遊具も交換等を行っており、事故等が生じた場合は役場が対応いたします。 また、使われていない理由での公園の廃止は法的に難しいものがあります。地域で利用しやすいように公園の管理運営は自治会をお願いしている状況です。	総合政策課
天理市など近隣市町村と避難受入れを検討されているのか。	現在のところ近隣市町村との協議はできておりません。この地域であれば、一時的に集会所に避難していただき、危険であれば小学校に避難していただければと思います。	総務課